

第3期推進プランの視点

花と緑が美しいまちづくり「フローラルこまつ」が進められ、通りや公園・広場、住宅街などを花や緑で美しく潤いのある生活環境づくりを個人、民間団体、商店、企業など市民共創で行っている。

少子・高齢化の急速な進行、地球環境問題の顕在化、ゆとりと心の豊かさ志向の高まりなどを求めるこれからの成熟社会においては、花と人とのつながり、または花と社会とのつながりの中で、花が社会に及ぼす様々なプラスの影響（コミュニティづくり、いきいきとした地域づくり、世代間の交流、観光振興、散乱ごみの減量、環境保全、犯罪の減少など）が重要であり、これまで培った花と緑への意識や取り組みを継続させていくことや、花と緑の活用による豊かな暮らしの向上を共に考える必要があり、様々な分野との繋がりを目指す。

これまでの取り組みの成果は、

花を植える

花を楽しむ

花を増やす

自然を感じる

花を育てる

花を見る

花を学ぶ

季節を感じる

市内全域に「花」の心を根付かせてきた

花と緑のつながりを「様々な分野」に展開



「花」という植物の力で、暮らしに豊かさを咲かせる

様々な分野

「健康」「教育」「文化」

「農業」「経済」「芸術」

「生活」「環境」「福祉」

「防災」これらと花をつなげる

花がもたらす効用をいかに効率良く地域の発展、活性化につなげるか

みんなで咲かせる最幸の花のまちを目指す
「第3期推進プラン」

花と緑が美しいこまつを磨く

花と緑が美しいまち「フローラルこまつ」を始めて、市民が一丸となり出発した2013年から8年間で、市民に普及、定着し市内全域に花壇が確実に増えてきた。お花好きやこの取り組みでお花好きになった人、花や緑を介して様々な人の輪が広がり、今では花壇のデザインや栽培技術などが向上してきている。

しかし花と緑が美しいまちとしては、市内全域のオープンガーデンやバラ園など花の拠点や広がりを進めているが、本市にはフラワーパークがなく、旅行者が気軽に花と触れ合う公共的な場所が少ないのが現状であり、花のまちづくりに携わる企業・市民など多岐分野の参加拡大や意識の醸成、次世代の人材育成が不可欠となっている。

最初のプランの実を結んだ2015年「全国植樹祭」、2017年の第2期の改定を経て取り組みは更に新しいプラン広がりとしています。

3期推進プランは花と緑が美しいまちとして、花美観光を推進する点在した潜在的な魅力（地域資源）が花で活かされるよう、花の「文化」「拠点」「交流」の整備と人材の育成など、ハード、ソフト両面で、2期プランの磨き上げ（継続・拡充）に取り組む。また、これまで培った取り組みや実現出来た喜びを伝播し、オールこまつで花のまちのレベルを上げ、こまつスタイル（フローラルDNA）を国内外に発信できるよう、第3期推進プラン策定を行う。

花や緑のある暮らしはいいことだらけ

五感を刺激する効果のある花や緑がそばにあると、自然とストレスが和らぎ心が浄化されます。部屋に飾ることはもちろん、ベランダやお庭で花や緑を育てることも、ストレス解消に大きな効果をもたらします。

犯罪率と街の植物が多い場所の関係を調べた研究結果では、植物が多い場所は犯罪率も少ないと言われています。

日本の地域や学校でも花壇や緑化政策に力を入れているところもあります。

『花や緑のある暮らし』が良いことも納得できます。

フローラルこまつの推進は、生まれ育った故郷やご自宅に花や緑がある生活を広げ、その魅力で心に安らぎと潤いが生まれ、

『最幸の花のまち』となることを目指します。



推進プランの基本理念と基本目標について



1. 基本理念

平成25年に策定した花水樹・協の10の施策の取り組みを積み重ね、2030年のSDGsの実現と未来へ引き継ぐ北陸で一番香しい最幸の花のまち目指すため、これまで培ってきた取り組みは継続・深化させ、新たに花を使ったまちづくりの総意と工夫を満載する3つの重点テーマを設け、新たな「アクションプログラム」を策定します。

第3期推進プラン 3つの重点テーマ	テーマ1 新しいスタイルの『花の文化』で深化・発展
	テーマ2 心とまちがレベルアップする『花の拠点』
	テーマ3 世界で輝く『花の交流』都市



2. 基本目標と経緯



市民共創で花と緑のまちづくりを推進し、花いっぱいのまちこまつで全国から訪れるお客様を『市民総参加でおもてなし』する。

- ・2013年（H25）フローラルこまつ設立（市民・企業・行政・専門家が共創）
- ・2014年（H26）スマイル木場湯「1万人の輪」で小松の市民力を発進
- ・2015年（H27）第66回 全国植樹祭（木場湯主会場）を花と緑でおもてなし
- ・2016年（H28）曳山子供歌舞伎250年本祭『曳山華舞台』を製作

第2期プラン［平成29年度～令和2年度］

北陸で一番の花と緑が美しいまちこまつで、オリンピック・パラリンピックを訪れる『国内外のお客様を歓迎』します。

- ・2017年（H29）那谷寺開創1300年、曳山250年祭エピローグ
- ・2018年（H30）栗津温泉開湯1300年、（公立）小松大学開学、木場湯公園桜回廊桜植樹370本
- ・2019年（R元）ラグビーワールドカップ
- ・2020年（R2）小松市制80周年、小松運動公園バラ植樹65株

第3期プラン［令和3年度～令和6年度］

花いっぱいを楽しみ喜びを共有し、心身ともに癒され、より健康で幸せに、市民が誇りを持ち、『みんなで咲かせる最幸の花のまち』で暮らす。

- ・2021年（R3）東京オリンピック・パラリンピック、全国花のまちづくりコンクール大賞
日本遺産サミットin小松、コマツ創立100周年、こまつの杜リニューアル[超大型ショベルPC4000展示]
- ・2022年（R4）東京オリンピック・パラリンピック、全国花のまちづくりコンクール大賞受賞、
- ・2023年（R5）加賀国1200年祭、国民文化祭
- ・2024年（R6）北陸新幹線小松開業、全国花のまちづくり小松大会

第4期プラン（予定）

花と緑が美しいまちを次世代に引き継ぐ



- ・2025年（R7）大阪・関西万博
- ・2027年（R9）越のくに国府サミット
- ・2030年（R12）SDGs目標年
- ・2040年（R17）市制100周年